

循環器内科に通院中の患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 「ICD, CRT 植え込み患者における睡眠時無呼吸症候群合併の意義」
IDATEN SAS registry (Implantable carDioverter defibrillATor and cardiac
rEsynchroNization therapy Sleep Apnea Syndrome registry)

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 秋田 弘俊

[研究責任者名・所属] 渡邊 昌也 (北海道大学病院循環器内科・助教)

[研究代表機関名・研究代表者名・所属]
浜松医科大学 医学部内科学第三講座 助教 成瀬 代士久

[共同研究機関名・研究責任者名]
手稲溪仁会病院（林健太郎主任医長）
亀田総合病院（水上暁部長）
順天堂大学（末永祐哉准教授）
東京医科大学（矢崎義直助教）
東邦大学大橋病院（榎本善成助教）
静岡済生会総合病院（長谷部秀幸科長）
小倉記念病院（福永真人副部長）
新古賀病院（折田義也医長）

[研究の目的]

この研究の目的は植え込み型除細動器（ICD）および両心室ペーシング（CRT）植え込み患者における睡眠時無呼吸症候群の合併と予後（ICD の適切作動、死亡など）との関連について調べることです。近年、睡眠時無呼吸症候群の合併が高血圧や心不全、心房細動などの様々な循環器疾患と関連があることが知られてきていますが、ICD や CRT の植え込み手術を行う患者における睡眠時無呼吸症候群の合併の影響については分かっていないことが多いため、この研究でその点について明らかにしたいと考えています。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

実施許可日～2022年3月に当院で植え込み型除細動器（ICD）または心臓再同期療法（CRT）植え込み治療を受けられた方

○利用するカルテ情報

患者背景、病歴、採血・心臓超音波・睡眠時無呼吸等・胸部レントゲン・心電図検査結果、ICD作動等の発生状況、フレイル・サルコペニアの指標、合併症、予後 等

この研究は、植え込み型除細動器（ICD）および両心室ペーシング（CRT）の植え込みを行っている機関で実施します。上記のカルテ情報を、ICD や CRT の植え込み患者さんにおける睡眠時無呼吸症候群の合併の影響を調査するために、浜松医科大学に郵送します。

[研究実施期間] 実施許可日～2024年3月まで（登録締切日：2022年3月31日）

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院循環器内科 担当医師 渡邊 昌也

電話 011-706-5675（外来）、011-706-5821（病棟） FAX 011-706-7874